

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030537607

病院施設番号： 030537

臨床研修病院の名称： 大阪警察病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名： 大阪警察病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	大阪警察病院臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	臨床研修においては、症例数・疾患の多様性・指導者の質・評価の正当性等を重視している。医師としての人格を涵養するとともに、患者を中心とした医学・医療のニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるような、基本的診察能力の獲得をめざすプログラムとなっている。また、1～3 次救急の研修をととして、救急疾患の初期対応ができるよう知識と技能を習得するのにも適した内容としている。同時に、多様化する社会のニーズに応えるべく、インフォームド・コンセント、医療事故防止、病診連携のあり方などを身につけることも目的としている。				
3. 臨床研修の目標の概要	1. 社会的使命と公衆衛生への寄与 2. 利他的な態度 3. 人間性の尊重 4. 自らを高める姿勢 5. 医学・医療における倫理性 6. 医学知識と問題対応能力 7. 診療技能と患者ケア 8. コミュニケーション能力 9. チーム医療の実践 10. 医療の質と安全の管理 11. 社会における医療の実践 12. 科学研究 13. 生涯にわたって学ぶ姿勢 14. 一般外来診療 15. 病棟診療 16. 初期救急対応 17. 地域医療 各項目の理解と習得を目標とする。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。試験による選考を経て、引き続き専門研修に入ることも可能。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030537	大阪警察病院	25.2 週	2.4 週
	救急部門	030537	大阪警察病院	12.6 週	
	地域医療	106013	菜の花診療所	4 週	一般外来 1～21 1～2 週 在宅診療 1～21 1～2 週
		076680	はらのむらクリニック		
		147479	弘善会クリニック		
		178749	矢木脳神経外科病院		
		097035	南港病院		
			福田診療所		
			葛西医院		
		おく内科・在宅クリニック			
	外科	030537	大阪警察病院	4.2 週	0.3 週
	小児科	030537	大阪警察病院	4.2 週	0.3 週
産婦人科	030537	大阪警察病院	4.2 週		

	精神科	030547	社会法人天心会小阪病院	2 週	
		031755	国分病院		
		030537	大阪警察病院	2 週	
		030777	大阪さやま病院	4 週	
		031579	吉村病院		
		030497	大阪大学医学部付属病院		
	一般外来	030537	大阪警察病院	4.2 週	
		106013	菜の花診療所	2 週	
		076680	はらのむらクリニック		
		147479	弘善会クリニック		
		097035	南港病院		
			福田診療所		
			葛西医院		
			おく内科・在宅クリニック		
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030537	大阪警察病院	8.4 週	
				週	
				週	
選択 科目	備考参照	030537	大阪警察病院	27 週	
	備考参照	030497	大阪大学医学部付属病院		

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門
の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約〇〇回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・〇〇週※但し、4 週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・〇〇科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

【備考】：

内科：1年次に消化器内科（4.2週）、循環器内科（4.2週）、+糖尿病・内分泌内科・代謝内科、呼吸器内科、免疫内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科から4科を選択（4.2週）し、計25.2週を必修とする。

外科：1年次に外科（4.2週）を必修とする。

小児科：1年次もしくは2年次に小児科（4.2週）を必修とする。

産婦人科：1年次もしくは2年次に産婦人科（4.2週）を必修とする。

精神科：2年次に上記施設から精神科2週、1施設を選択し2週、を必修とする。※他4週

救急部門：1年次にER・救命救急科（4.2週）、2年次にER・救命救急科（8.4週）を必修とする。（ER当直2～6回/月）

地域医療：2年次に上記施設から1施設を選択（4週）し必修とする。（在宅医療）

麻酔科：1年次に麻酔科（4.2週）、2年次に麻酔科（4.2週）を必修とする。

選択科目：大阪警察病院、4週以上選択することができる。

消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科・代謝内科、呼吸器内科、免疫内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、小児科、産婦人科、ER・救命救急科、麻酔科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成再建外科・美容外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、感染管理センター、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、眼科、皮膚科、総合診療科

※臨床研修協力施設での研修期間・・・最大5週

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科、総合診療科、地域医療、（合計4.2週以上）

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号
は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号： 030537
臨床研修病院群番号： 0305376

臨床研修病院の名称：大阪警察病院
臨床研修病院群名：大阪警察病院群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030537307

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野＊２	１～ ４週	５～ ８週	９～ １２週	１３～ １６週	１７～ ２０週	２１～ ２４週	２５～ ２８週	２９～ ３２週	３３～ ３６週	３７～ ４０週	４１～ ４４週	４５～ ４８週	４９～ ５２週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
大阪警察病(030537)	内科	9	9	7	8	9	3	4	7	4	6	5	5	4
大阪警察病(030537)	救急部門	1		2	1	1	1		1	1	1	2	1	2
大阪警察病(030537)	外科	1	2		1		1	1		2		2	3	2
大阪警察病(030537)	小児科					1			1	1	1			1
大阪警察病(030537)	産婦人科	1		1					1	1	1	2		1
大阪警察病(030537)	麻酔科	1		1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2
大阪警察病(030537)	選択科		2	2	2	1		1	2	2	2	1	2	1
)														

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

大阪警察病院（030537）	選択科目	5		6		5		7		7		4		3		3		5		3		5		6		5	5	
----------------	------	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	---	--

- * 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- * 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。